

虹の岬の喫茶店

“ふしぎな岬の物語”がモントリオール映画祭に審査員特別グランプリを受賞しました。吉永小百合のために作られたような映画ですが、実は昨年暮れに発刊された小説“虹の岬の喫茶店”を映画化したものです。高倉健主演の“あなたえ”と同じ作家森沢明夫の作で、それぞれの家族の織りなす人生の機微を綴りつつ、吉永小百合をイメージしたとも思える作品です。

（春）アメイジング・グレイス（驚くほどの恩恵）のハッピーのドキドキ“とくとくとく・・・小さな心臓の音”から始める、どこにでもあるような虹を探しての不思議な物語です。私は再読しましたが、全国放映前に小説を手にとられてはいかがですか。

紹介書：虹の岬の喫茶店

森沢 明夫 著 幻冬舎文庫

新王子病院4階ロビー 私の書棚 今月

平成26年9月3日

理事長 市丸 喜一郎